

今年度の科学委員会及びワーキンググループの検討結果

◆平成 26 年度第 1 回科学委員会（9 月 8 日 奄美大島）⇒資料 1 - 4 参照

○各地域の遺産価値の保全管理に係る詳細の議論を進めるため、奄美ワーキンググループ（座長：米田副委員長）及び琉球ワーキンググループ（座長：土屋委員長）の設置について事務局より説明があり、承認された。

○推薦書骨子案について、概要と今後の記述の方向性について事務局より説明を行い、委員より助言を得た。また、委員長より、推薦書記載に必要な情報収集について委員の協力の依頼があった。

◆平成 26 年度第 1 回奄美ワーキンググループ（11 月 8 日 徳之島）⇒資料 1 - 5 参照

◆平成 26 年度第 1 回琉球ワーキンググループ（12 月 11 日 那覇）⇒資料 1 - 6 参照

○世界自然遺産推薦に向けた検討に係る経緯の説明と、ワーキンググループの役割について事務局から説明し、了承いただいた。

○既存の世界自然遺産地域における管理計画の概要を紹介し、奄美・琉球における管理計画の目次案及び構成案について事務局より説明を行い、助言を得た。

○事務局より沖縄島北部（やんばる）・西表島における自然環境の保全上の課題と既存の取組及び取組の成果と今後の課題等について事務局から説明を行い、助言を得た。